



2015年3月18日

各 位

会 社 名 株式会社ワイヤレスゲート
(コード9419：マザーズ)

住所 東京都品川区東品川2-2-20
天王洲郵船ビル5階

代表者 代表取締役CEO 池田 武弘

問合せ先 取締役IR本部長 須永 直樹
(TEL. 03-6433-2045)

2020年東京オリンピック・パラリンピックを視野に 世界最大のコミュニティWi-Fi「FON」と 日本のWi-Fiインフラの拡充に 向けた取り組みを開始

～ Wi-Fiエリアの拡充とWi-Fiを活用したマーケティング事業 ～

ワイヤレス・ブロードバンドサービスを提供する株式会社ワイヤレスゲート（本社：東京都品川区、代表取締役CEO：池田 武弘、以下 ワイヤレスゲート）は、世界最大のコミュニティWi-Fi「FON」を運営するFon Wireless Ltd.（本社：スペイン・マドリード、以下 FON）と、その日本法人のフォン・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役CEO：金田 宏、以下 フォン・ジャパン）と日本のWi-Fiインフラの拡充に向けた取り組みを開始します。

近年、スマートフォンなどのデバイスの普及、また2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた訪日外国人の増加に伴い、官公庁および民間企業などにおいてWi-Fiインフラを拡大する取り組みが進められています。世界200カ国以上に約1,300万カ所以上のWi-Fiスポットを保有するFON社は、2012年のロンドンオリンピック開催時にイギリス大手通信事業者のBTと共同して、オリンピック会場周辺のWi-Fi環境を充実化させた実績を持ちます。

さらに、2016年のリオデジャネイロオリンピックにおいてもブラジルの大手通信事業者のOiとWi-Fi環境を整備する構想を持っています。

こうした「FON」のノウハウを利用して、ワイヤレスゲートは、2020年東京オリンピック・パラリンピックを視野に、国内において20万スポットを構築すると同時にWi-Fiを活用したマーケティング事業を、FONおよびフォン・ジャパンと開始します。

1. 無線ルーターを販売し、自宅の Wi-Fi 環境化をサポート

総務省が昨年 6 月に発表した「通信利用動向調査」によると、家庭内で無線 LAN を利用する国内世帯は全体の 54.4%と、約半数の世帯が無線 LAN 以外の方法でインターネット接続することが明らかになりました。ワイヤレスゲートは自宅でも快適な無線 LAN 環境が得られるよう、FON と共同で高性能かつ低価格な無線 LAN ルーターを 3 月 19 日より大手家電量販店のヨドバシカメラで販売を開始します。

自宅にこのルーターを設置した利用者は、ワイヤレスゲートが提供する「ワイヤレスゲート Wi-Fi+LTE SIM カード」の会員になることで、ワイヤレスゲートが展開する国内約 40,000 カ所の Wi-Fi スポット、LTE 通信網、3G 網に加えて、FON 会員として世界 1,300 万カ所以上の「FON」の Wi-Fi スポットも無料で利用ができます。なお、利用可能な日本国内の「FON」Wi-Fi スポットは、今後も大幅に拡大する予定です。

2. Wi-Fi スポットでスモールビジネスをサポート

移動販売者向けプラットフォーム事業などを展開する株式会社 Andeco（アンデコ）の「M-Store Platform」（読み方：モビリティ・ストア・プラットフォーム）に、「FON」ルーターを提供して移動販売者の Wi-Fi 環境の構築をサポートします。「M-Store Platform」は、商業施設やマルシェ内などの様々な「場」に、キッチンカーやカートを用いて飲食業や小売業の店舗を開設する移動販売者向けに、電気と水を提供するソリューションです。「FON」ルーターの提供により、「M-Store Platform」利用者は電気、水に加えて Wi-Fi 環境を得ることが可能となります。店舗顧客への付加価値サービスとしての Wi-Fi サービス提供や店舗スタッフが Wi-Fi ネットワークを活用することが可能になります。

ワイヤレスゲートは、Wi-Fi スポットを通じて物販や飲食などのスモールビジネスをサポートします。

なお、「M-Store Platform」の設置場所開拓や Wi-Fi インフラの管理・運用は、これまでに約 60,000 カ所を超える Wi-Fi ネットワークの構築の実績がある株式会社バディネットと共同で手掛けます。

今後、この取り組みを「ロケーションコマース・アライアンス」として推進してまいります。

3. マーケティングデータの収集と提供

ワイヤレスゲートは、これまでも「銀座 G Free プロジェクト」など Wi-Fi 環境を活用したマーケティング事業を開始しております。今後のマーケティング事業のさらなる拡充に向け、フォン・ジャパンと共同で「M-Store Platform」などに共同設置されたルーターから得られる「人の流れ」関連のデータを収集・解析することでビックデータの活用に取り組む予定です。

4. 今後の見通し

平成 27 年 12 月期の業績に与える影響は現時点では軽微であります。中長期的に当社の業績の向上に資するものと考えております。

ワイヤレスゲートは、快適なワイヤレス・ブロードバンドが利用できるよう、Wi-Fi インフラの拡大およびサービスの拡充を図っていきます。

(参考) 当期連結業績予想 (平成 27 年 2 月 12 日公表分) 及び前期連結実績

	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	連結 当期純利益
当期連結業績予想 (平成 27 年 12 月期)	12,472 百万円	1,350 百万円	1,348 百万円	856 百万円
前期連結実績 (平成 26 年 12 月期)	9,105 百万円	794 百万円	789 百万円	499 百万円

以上